

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			
	2	職員の配置数は適切であるか	✓			職員加配加算を付けての体制を整備しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			床にマットを敷き、フラットに整備しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	第三者委員会の設置は行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			あらゆる角度からの研修を行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			アセスメントにはアンケート形式を用いて、希望や要望などを聞き計画書の作成をしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			ホップ独自のアセスメント様式を用いています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			スタッフで共有しながら立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			固定化しないよう、またニーズに添えるよう工夫したプログラムにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			平日以外は預かり時間が長いため、時間を要するおやつ作りなど時間をかけて行える活動も設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			個別療育と集団療育を組み合わせ行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			申し送りや確認事項の打ち合わせを行い、支援に入っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓			勤務状況にもよるが、当日または翌日に必ず行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			記録物はこまめにとり、振り返りに使用するなど改善に繋がるようにしています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			見直しの必要がある場合にはモニタリングを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	✓			複数組み合わせさせて行う活動がホップの強みです。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			児発管、場合により指導員も参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			下校時、先生と確認することが多いです。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			✓	事業所としての受け入れをしていません。。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		✓		必要時、情報の共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		✓		保護者様の希望を考慮し、必要時行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		✓		研修機会があれば積極的に研修を受けるようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			✓	現在、機会を設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		✓		機会があれば参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			面談や連絡帳での報告や質問など行い、共通理解が出来るよう努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			✓	講座は、年2回行っており任意での申し込みとなっています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約時、滞りなく説明をさせていただいております
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			いつでも体制を整えており、助言支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓	保護者会の開催は近年できておりません。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			苦情窓口、解決責任者をたて対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			ホップだよりを毎月保護者様へお渡ししています。
	35	個人情報に十分注意しているか	✓			SNS発信等、写真掲載にも十分に注意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			✓	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			ホップ内に掲示し、いつでも閲覧できるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			非常災害時、不審者訓練などを毎月おこなっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			虐待防止マニュアルを作成し、研修会を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			身体拘束マニュアルを作成。委員会を設け職員の共通理解をはかったうえで、契約書、個別支援計画書にも記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			✓	保護者様からの情報伝達をもとに、事業所内で十分に気を付けています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			ヒヤリハット事例集を収集し共有を行っています。

